

TWINCLE-J 活動報告書

日時	平成 27 年 9 月 29 日 12:30～16:00
派遣先	千葉県立安房高等学校
メンバー	千葉大学生 2 名、留学生 5 名
活動内容 生徒数：34 名 教員数：6 名	<p>9:30 出発 オフィスに集合し、日本人学生 2 名、留学生 5 名の計 7 名で安房高校に向けて出発する。今回参加した留学生は日本語による日常会話が可能で、中には 7 年以上日本に住んでいる者もいた。</p> <p>12:30 安房高校到着 交流会が行われる会議室にて、先生方が用意してくださったお弁当をいただいた後、プレゼンテーションの準備をする。待ち時間に、先生方が、「遠くからありがとう」と安房高校の文房具と校章入りクッキーをくださった。</p> <p>14:25 交流会開始 進行はアメリカ人の ALT の先生が行った。初め高校生に緊張が見られたが、ジョークを交えた先生の進行もあって雰囲気は少し和んだようだった。</p> <p>14:30 留学生によるプレゼンテーション開始 留学生は、高校生が親しみやすい自己紹介や自国紹介の話題を盛り込んだスライドを用意していた。スライドに写真を多く盛り込み、必要に応じて黒板を利用するなどし、分かりやすい説明を心がけていた。高校生にはプリントが配布され、所定の欄にメモを取りながら聞いていた。</p> <p>15:20 留学生と高校生とのグループ交流開始 高校生が 7 人程度の小グループを組み、留学生が一人ずつ配置された。時間で区切り、5 名の留学生がすべてのグループと交流ができるようにローテーションした。先ほどの留学生のプレゼンテーションの時は静かだったが、グループ交流は終始良い雰囲気で行われた。留学生は、高校生が話しやすいように初めに自己紹介を求めたり、名前を呼んで話しかけたりしていた。日本語が分かる留学生なので、高校生が伝えようとしていることも高校生同士の会話の中から察し、話題を工夫しているようだった。高校生は、辞書で調べながら質問を考え、勇気を出して話しかけているようだった。交流も後半になると、さらに会話が盛り上がっているようで、惜しみながらローテーションをしている姿も見受けられた。</p> <p>16:00 交流会終了 代表生徒挨拶、集合写真を撮り交流会は終了し、安房高校を出発した。西千葉駅で解散した。</p>
派遣先教員 コメント	 <p>わざわざ館山までいらっしゃっていただいて、誠にありがとうございました。いつも授業中に欧米文化を生徒に紹介しておりますが、中国やアジアのことをなかなか紹介することができません。おかげさまで、留学生が安房高校にいらっしゃって、生徒がもっとアジアや多文化に興味を持つようになったことがはっきり分かります。日本にいる外国人として、とてもうれしいです。千葉大学の留学生にまたいらっしゃっていただければいいと思います。また宜しく申し上げます。ありがとうございました。</p>
留学生 コメント	<p>このような交流会に参加したのは初めてでした。高校生が一生懸命話を聴いて分かってほしいと伝わってきました。高校生はとてかわいかったです。私は今、日本で暮らして日本語で毎日話をしていますが、英語ももっと話せるようにならなければと感じ、とても良い機会になりました。</p>
学生リーダー コメント	<p>今回の交流会は、活動全体の雰囲気が大変良くて、参加している高校生・留学生の笑顔が見られました。しかし、留学生のプレゼンテーションの内容や発表の難易度にばらつきがあり、改善の余地があると感じました。「高校生に分かりやすいように」と伝えるだけでなく、具体的な例を挙げてどのように発表したら良いか、このプログラムに初めて参加する留学生には伝えることが必要であると思います。また、留学生が再びこのプログラムに積極的に参加するよう、参加した高校生の感想をフィードバックするなどして、さらに活動の幅を広げて行くことができればと思います。</p>